

## テーマ 04

# テクノロジーを活用した 安全な避難行動の支援

市民の、普段からの災害に備えた準備・対策や、災害発生時の的確な避難行動をサポートするソリューションを募集します。



【参考】日頃からの備えや地域における水害・土砂災害の危険性に応じた「避難の流れ」について

[仙台市ホームページ避難所運営マニュアル](#)（特に [\(2\) 大雨時避難・開設編](#)）をご確認ください。

## テーマ4 詳細

- ・ 災害危険区域は、事前にハザードマップ等で確認することができるものの、災害時は、実際に土砂災害や道路冠水、浸水が発生している箇所がある一方、避難行動中の市民はそれを確認することはできないため、災害状況が可視化されたソリューションが必要。
- ・ 津波から避難すべきエリアにおいて、徒歩（災害時要援護者は自動車）等で避難する場合の避難場所や経路を検索できること。複数の避難場所・経路を確認して選択できることや、渋滞を防止・回避するなど、避難可能性を高めるソリューションが必要。



# 【参考】平常時の災害準備 仙台市HP「災害に備えて」

<https://www.city.sendai.jp/kurashi/anzen/saigaitaisaku/sonaete/index.html>

家の避難計画 マイ・タイムライン 記載例

平常時

大雨の onset

避難開始時期

災害発生

**気象・避難情報**

警戒レベル1  
台風予報・早期注意情報

警戒レベル2  
大雨・洪水注意情報等

警戒レベル3  
高齢者等避難

警戒レベル4  
避難指示

警戒レベル5  
緊急安全確保

**避難の準備・確認**

●ハザードマップ  
せんだいらしのマップや、仙台防災ハザードマップで自宅周辺の災害リスクを確認しましょう。  
浸水深 : 0.5m ~ 3.0m 未満  
土砂災害 : 土砂災害警戒区域  
自宅が「早期の立ち退き避難が必要な区域」のエリアにある  はい  いいえ

●避難する場所  
大雨時に避難することを踏まえ、事前に避難先や避難方法を考えてみましょう。  
避難先① : 長町小学校  
避難先② : 長町中学校  
避難方法 : 徒歩  
避難に要する時間 : ①10分 ②20分

●避難開始のタイミング  
自宅が「早期立ち退き避難が必要な区域」のエリアにある場合  
 妊婦中の方や小さなお子様連れの方など、避難に時間を要する場合  
上記以外で、自宅が洪水・浸水想定区域、又は土砂災害警戒区域等のエリア内にある場合

●市からの避難情報の発令をチェックして、避難を開始しましょう。

●避難情報の収集手段  
 仙台市避難情報ウェブサイト  
 社の防災メール  
 仙台市危機管理室Twitter  
 テレビのデータ放送

●避難が完了していない場合は直ちに避難を開始。  
●外に避難することでかえって危険な場合は、建物内の安全な場所で安全を確保しましょう。

**避難のポイント**

●台風や大雨を想定し、雨が強くなる前に、必要な事前準備を考えましょう。

避難場所、避難経路の再確認  
 家族の予定を確認  
 軒先の植木鉢等の片づけ  
 携帯電話の早めの充電  
 持病薬の準備  
 車の充電の確認

いざ避難という時、慌てるとの怖いように、「戸締りをする」など具体的な行動をとります。

●避難する際の注意点を考えましょう。

避難場所の開封状況を確認  
 火の元、戸締りの確認  
 避難すること、避難先を家族に連絡  
 非常用持出袋をもって避難

避難所に向かうなど、自宅の外に避難する場合は、雨が強くなる前に避難することを心がけましょう。

**避難対象区域の方は、この時点までに全員避難**

●自分の状況を家族や親戚等に連絡しましょう。

**非常持出品の準備**

飲料水・食料  現金  着替え  
 保険証  モバイルバッテリー  常備薬  
 衛生用品  生理用品  メガネ  
 乳児用ミルク  衛生用品  雨具

大雨時に避難する場合は、持ち出す荷物を最小限に留め、リュックサックを使用するなど、両手が自由に使えるようにしましょう。

**家族データ** 避難後、家族が離れ離れた時のために

名前	電話番号	必需品	居る場所	備考
仙台 一郎	090-****-****	メガネ	会社	
仙台 双典	090-****-****	コンタクト洗浄液	会社	
仙台 三枝	090-****-****		●●高校	
仙台 四郎	090-****-****		〇〇中学校	
仙台 元子	022-****-****	持病薬	デイサービス	

市民に、平常時から災害時の避難計画（「マイ・タイムライン」）の作成をよびかけている。

自宅周辺の環境や各自の状況に応じて、避難先や、避難方法、避難にかかる時間を把握してもらい、いざ避難が必要な際にも慌てずに行動できるよう準備をしてもらうことが目的。また、合わせて家庭内備蓄や避難時の非常持ち出し品のリストアップもよびかけている。

## 改善したい点

- 災害時のリアルタイムの情報反映
  - よりスムーズな避難を行うため、マイ・タイムラインをデジタル化したうえで、事前に作成した計画に照らし合わせたリアルタイムの情報を伝達できること。
- 家族との共有
  - 過去の災害時には家族の安否や、避難先が分からないことがあったため、家族の避難先をあらかじめ共有し、また、避難情報を確認できること。